

「現代の僧侶」を考えるワークショップ － 進め方資料

作成：現代の僧侶を考える会
（監修：一般社団法人お寺の未来）

ワークショップ実施時の事前検討

ワークショップの事前準備

■ ワークショップの設計

- 全体の時間は最低3時間くらいを確保できることが望ましいです。確保できる時間が長かったり、短かったりする場合は、対話の時間を適宜調整しましょう
- 1グループは4-5名程度で構成しましょう(多くても6名までにとどめましょう)
- 当日の準備物として最低限必要なものは以下となります
 - ・ 模造紙×グループ数
 - ・ ポストイット(→対話の内容を備忘録メモとして書き込むもの。議論の整理にも便利。色は何でもOK)
 - ・ サインペン(→人数分を用意しましょう。色は黒が望ましいです)
 - ・ 「ワークシート:自分の『僧侶像』と『僧侶の規範』のイメージング」×人数分(→A4白黒でOKです)

■ 参加者にお願すること

- 事前に、「現代の僧侶を考える会」の検討結果資料(簡易版)をよく読んでいただいた上で、ワークショップに臨んでもらいましょう
- 余裕のある場合は、検討結果資料(詳細解説版)を読んでいただくことを、積極的に推奨します

■ 実行体制

- 実りあるワークショップとするため、以下の役割を含め効果的な実行体制を作りましょう
 - ・ ワークショップの進行役
 - ・ 進行役の補佐

ワークショップの進め方(3時間版)

※時間は目安です。実施機会にあわせて調整ください

ガイダンス
(10分)

- 全体の進め方と対話のテーマの共有
- グループ内のファシリテーターの選出
- 記録用フレームワークを、模造紙に書き写し

対話:
僧侶像と僧侶の規範
(70分)

- 対話のテーマに沿って、グループで対話
- (時間に余裕がある場合)途中でグループをシャッフル

休憩:10分

対話:
僧侶の研鑽方法
(40分)

- 対話のテーマに沿って、(元の)グループで対話

全体発表
(20分)

- グループでの対話の結果をまとめ、全体で発表・共有

休憩:10分

目指したい僧侶像の
イメージング
(30分)

- ワークショップの対話の結果をふまえ、参加者それぞれが目指したい僧侶像についてイメージを具体化
- 考えた内容をグループ内で共有

ワークショップの進行資料

**受け手である生活者の視点をふまえながら、
現代における僧侶のあり方を多面的に検討し、
各位の研鑽につながりうる示唆を得る**

対話のテーマ

これからの僧侶のあり方(僧侶像と規範)はどのようなものでしょうか？

- ✓ 「現代の僧侶を考える会」の検討結果をグループ内で感想を共有し、僧侶の規範(心構え&技能)に関して、理解と意味合いを深めましょう
- ✓ 規範をふまえ、今までの僧侶のあり方として、変えるべきもの(新たに養うもの)と、変えてはならないものは何でしょうか？

これからの僧侶には、どのような研鑽が大切でしょうか？

- ✓ 今までの伝統的な僧侶の教育方法において、変えるべきものと、変えてはならないものは何でしょうか？
- ✓ 世の中を広く見渡し、僧侶が進んで研鑽を積んでいくべき場や機会はどのようなものでしょうか？
- ✓ 目標とする僧侶のあり方に向けて、一人ひとりの僧侶の成長を、どのような場や形を通じて振返りと確認をしていくことが大切でしょうか？

ファシリテーターの選出

- 各グループで、対話の進行役を務める、“ファシリテーター”を選出いただきます
- ファシリテーターの役割は：
 - メンバーに対して、均等な発言や模造紙への記入を促す
 - 質問を投げかけ、対話の質を深める
 - グループシャッフル後も引き続きファシリテーターを務める
 - 全体発表で対話の内容を発表する

模造紙に書き写しましょう

これからの僧侶のあり方(僧侶像と規範)		僧侶の研鑽方法
心構え		
技能	つながり	
	受容	
	創造	

対話で心がけていただきたいこと

一人で話しすぎず、他の参加者が発言する時間をしっかり確保するように注意しましょう

他の参加者の意見を否定せず、受け止めましょう。何故そのように考えたのか、意見の背景を理解することに努め、対話を建設的に発展させましょう

模造紙やポストイットに書き込んで、自分の意見を可視化し、他の参加者に共有するように努めましょう

これからの僧侶のあり方(僧侶像と規範)は どのようなものでしょうか？

- 「現代の僧侶を考える会」の検討結果をグループ内で感想を共有し、僧侶の規範(心構え&技能)に関して、理解と意味合いを深めましょう
- 規範をふまえ、今までの僧侶のあり方として、変えるべきもの(新たに養うもの)と、変えてはならないものは何でしょうか？

※テーマ2の話をしたくなくても、まずはテーマ1の話に集中しましょう

テーマ1は模造紙の「左半分」を使いましょう

これからの僧侶のあり方(僧侶像と規範)		僧侶の研鑽方法
心構え		
技能	つながり	
	受容	
	創造	

- ファシリテーターをテーブルに残し、他の方々は別のテーブルに散らばってください
- ファシリテーターの方は、これまでの対話の内容を、移動されてきた方々に共有してください
- 移動されてきた方々は、各テーブルの対話内容を共有し、対話を発展させましょう

テーマ2：僧侶の研鑽方法(35分)

これからの僧侶には、どのような研鑽が大切 でしょうか？

- 今までの伝統的な僧侶の教育方法において、変えるべきものと、変えてはならないものは何でしょうか？
- 世の中を広く見渡し、僧侶が進んで研鑽を積んでいくべき場や機会はどのようなものでしょうか？
- 目標とする僧侶のあり方に向けて、一人ひとりの僧侶の成長を、どのような場や形を通じて確認していくことが適切でしょうか？

テーマ2は模造紙の「右半分」を使いましょう

これからの僧侶のあり方(僧侶像と規範)		僧侶の研鑽方法
心構え		
技能	つながり	
	受容	
	創造	

まとめ(10分)

各グループでの対話における特に重要なポイントを、下記の視点で一つずつまとめてください

-僧侶の規範

-僧侶の研鑽

1分プレゼン

各グループで議論された特に重要なポイントを、下記の視点で一つずつ発表してください(1分)

-僧侶の規範

-僧侶の研鑽

気づきの収穫：目指したい僧侶像のイメージング(10分)

本日の対話を通じた気づきをふまえ、自らが目指したい僧侶像をイメージングしましょう

- 私が目指したい「僧侶像」の具体的内容**
- 僧侶の「規範」において特に大切にしたいこと**
- 僧侶像を目指す上で心がけたい「研鑽方法」**

ワークシート: 自分の「僧侶像」と「僧侶の規範」のイメージング

私が目指したい僧侶像

心がけたい研鑽方法

【つながり】
生きた儀礼

【受容】
一人ひとりに合わせた
傾聴・対話力

【創造】
ご縁を大切にする
寺業の構想・実践

技能



日本仏教の僧侶としての自覚・振る舞い

心構え

グループ内共有

**ご自身がイメージングした僧侶像・
規範・研鑽方法にちついてグルー
プ内で順番に共有しましょう**

(一人2分)